

2023年度事業報告

特定非営利活動法人

町田市学童保育クラブの会

I. 法人事業

1. 組織運営

1) 理事会

	日程	内 容
第78回	5月28日	2023年度 事業経過報告、業務継続計画策定、常勤職員給与支給日変更について、2022年度 事業報告、2022年度 決算、経理規程一部改正、定期総会の招集
第79回	7月1日	理事長、副理事長の選出および代行順位について
第80回	12月3日	2023年度 事業経過報告、クラブ外保育マニュアル一部改正、定款一部改正、給与規程一部改正、再雇用職員就業規則一部改正、非常勤職員就業規則一部改正、2023年度 第一次補正予算
第81回	3月24日	2023年度 事業経過報告、2023年度 第二次補正予算第6期 中期計画、2024年度 事業計画、2024年度 当初予算、定款細則 一部改正、経理規程 一部改正、クレジットカード取扱規程、給与規程 一部改正、運営管理規程 一部改正、その他規程 一部改正

2) 評議員会

理事会の諮問機関の役割を担うものとして、5月に開催した。第21回 定期総会にて評議員会が廃止となったため、7月以降は保護者会との懇談会にて法人の組織運営について意見を求めた。

	日程	内 容
第33回	5月29日	2023年度 事業経過報告、業務継続計画策定、2022年度 事業報告、2023年度 決算

3) 事務局

(1) 事務局は理事会の日常業務の執行機関であり、組織運営に関する業務を行う。

- ①4月～6月：事業報告書および決算書を作成し、関係諸機関へ提出。
- ②6月：定期総会を開催、町田市の管理運営状況評価（モニタリング）を作成。
- ③7月：指定管理選定書類作成
- ④理事会および評議員会の議案を作成し、運営。
- ⑤特別保育の利用料徴収業務を行う。
- ⑥関係諸機関・団体との連携を図る。
- ⑦クラブの職員体制の調整を行う。

(2) 事務局会議を開催し、法人組織の機関会議として様々な課題の検討を行った。

日程	内 容
4月	クラブ報告、にじいろキッズ（春企画）、職員配置、指定管理選定、運営委員会 議題整理
5月	クラブ報告、評議員会・理事会議案確認・ロケットキッズ企画案について
6月	クラブ報告、施設長会議報告、指定管理選考スケジュール、定期総会、7月運営委員会議題整理
8月	クラブ報告、指定管理仕様書、2022年度 指定管理管運営状況評価表、特別保育支払い方法、保護者との学習会、玉川大学インターンシップ受け入れ、利用者アンケート、
9月	クラブ報告、特別保育支払い方法、Microsoft365アクセス制御、保護者会との学習会、親善ソフトボール大会、ロケットキッズ企画、20周年記念式典
10月	クラブ報告、2022年度 指定管理管運営状況評価表、利用者アンケート、施設長会議報告、親善ソフトボール大会、特別保育支払い 決裁代行サービス、Microsoft365アクセス制御
11月	クラブ報告、利用者アンケート、特別保育支払い 決裁代行サービス、11月 保護者会との懇談会・運営委員会 議題確認、20周年記念式典
12月	クラブ報告、利用者アンケート回答、入退室管理システム導入、2024年度 事業計画、理事懇談会、アクセス制御
1月	クラブ報告、定数協議報告、財務・労働モニタリング、2024年度 事業計画、2023年度、事業報告
2月	クラブ報告、えるぼし認定、ロケットキッズ企画、仕様書変更、20周年記念式典報告集、2024年度 職員配置、2月 運営委員会議題整理
3月	クラブ報告、2023年度 事業計画、理事会議案確認、主任制度について

4) 各種委員会

(1) 運営委員会

運営委員会は、①組織・事業全般に関し、理事と施設責任者で業務執行状況の確認および調整、②組織内の重要事項の確認、伝達等、③第6期中期計画等の検討を行った。

日程	内 容
4月	クラブ報告、2023年度 事業報告、入退室管理システム導入スケジュール、指定管理選定スケジュール
7月	クラブ報告、PJ/担当報告、入退室管理システム、事業継続計画、第6期中期計画
9月	PJ/担当報告・ソフトボール大会
11月	PJ/担当報告、第6期中期計画、利用者アンケート回答
2月	PJ/担当総括・企画、第6期 中期計画

(2) 調査研究委員会

2023年度、活動はなかった。

(3) 人事委員会

人事委員会は、正規職員の採用および配置、昇級試験を中心とした活動を行った。また、組織として職員の人事に関する情報を把握することに努めた。

日程	内 容
8月	2023年度 正規職員選考（欠員）、2024年度 正規職員選考、昇級試験について
9月	昇級試験について
11月	2024年度 正規職員選考、昇級試験
12月	昇級試験
1月	2024年度 正規職員選考
2月	2024年度 正規職員選考、2024年度 職員配置、主任制度について
3月	2024年度 正規職員選考

(4) 苦情解決委員会

苦情解決制度に基づき、苦情解決委員会を6月と12月に開催し、第三者委員に報告した。

5) 職員の諸会議

(1) 正規職員全体会

職員教育および情報共有を目的に年3回実施し、施設責任者が運営を担当した。

(2) プロジェクト等、課題別の会議

① ぷちくれよんひろば

年10回会議を開催し、地域の乳幼児とその保護者の「孤立した子育て」をなくすため、親子で安心して過ごせる居場所づくりとなるよう計画を行った。開催情報等を必要な家庭に直接届けるために町田子育て相談センターと連携し、マイ保育園登録訪問の際にチラシを配布していただくこととした。人数を5組と限定し対面で実施することができ、他団体が実施して

いる子育てひろばの見学を行い、参考にしながら開催方法や内容の充実を図った。多くの利用者の声を集めることができるよう、利用者アンケートの内容を企画アンケートや利用者カードに入れる検討を行った。2024年度から変更した書式を利用し、より充実した内容となるようにしていく。

②ロケットキッズ

年 10 回会議を開催し、昨年度に引き続き「ペットボトルロケットの打ち上げ実験」として、11月18日(土)、12月2日(土)の2日間開催に向け準備を行った。今年度はロケットだけでなく発射台も子どもたちが作成できるように試行錯誤を重ね検討した。また、開催後は報告集を作成し参加者へ配布した。また、2024年度プログラム実施に向けて案内のチラシ、申し込み方法について検討を行った。

③広報紙『くれよん』

年 9 回プロジェクトを実施し、167～172 号の記事作成・発行と、現状の課題を確認した。また、9月発行日変更の検討を行い、記事の充実を図るため次年度からは発行日を15日から25日発行に変更することとした。他機関の広報紙も参考にしながら今後もより良い情報発信ができるよう発行していく。

④20周年記念式典

責任者会を中心に理事と職員でプロジェクトを発足し、法人20周年に際し記念式典の企画立案、記念誌、報告集の作成を行った。プロジェクト全体会議はオンライン会議を基本とし、式典開催前13回、開催後1回、計14回行った。また、プロジェクト全体会議の前には、実行委員長と副実行委員長で会議内容、方向性を検討するための打ち合わせを行い、全体会議の効率化を図った。また、式典の役割毎に担当者を決め、必要に応じ役割毎に打ち合わせを行った。

⑤保護者と支援員の学習会

年9回の会議を行い、学童保育クラブを利用する保護者と支援員が共に学び考える場として、昨年度、忠生地区で開催し好評であった「いのちの広場」を鶴川地区で再度開催する準備を行った。参加対象者を外部へ拡大して、11月18日に鶴川第三小学校視聴覚室で行った。次年度も子育てへの向き合い方を考えるきっかけとなる場として、本年度のアンケートに沿ったテーマを選択し学習会を行うことを確認した。

⑥第6期中期計画

理事と支援員で発足し、幅広い意見や提案を取り入れるため、支援員は初任者から責任者までの階層から構成した。現代の子どもや保護者、家庭を取り巻く社会の現状、課題を分析し、学童保育の充実や保護者支援をするために活動すること、法人の発展を目指し新しく実施すべき活動や事業展開、職員がいきいきと働き続けられるための環境作りや、業務効率化、合理化を図るため『第6期中期計画(2024～26年度)』を立案した。

2. 人材確保

1) 人材確保

(1) 大学訪問

直接の訪問はできなかったが、玉川大学の教員へ求人情報を案内した多くの大学が活用しているアルバイト求人サイトを活用し、夏休み期間にサイトから7名の応募があったため、今後も活用する。

(2) クラブ見学の受け入れ

ホームページの求人コーナーでクラブ見学が可能なことを掲載し、求職者より依頼があった際にはクラブ見学の受け入れを行った。

- (3) インターンシップの受け入れ
制度を導入する準備を進めたが、検討までいたらなかった。玉川大学から依頼を受け、大学の秋学期に2名（大蔵・どろん子）受け入れを行った。学童保育だけでなく、ぶちくれよんひろば、ロケットキッズプロジェクトの会議に学生が参加し、学生による企画日を設けた。
- (4) 就職説明会
社会福祉協議会主催の「福祉の仕事」（就職説明会）は案内が届かなかったため参加することができなかった。ハローワーク新卒者対象説明会は、指定管理の選定期と重なったため参加申し込みを行わなかった。次年度は、開催時期を早めに問い合わせ参加できるように計画する。
- (5) 法人ホームページの活用
昨年度に引き続き、クラブ見学の問い合わせが複数あり、採用につながった。玉川大学よりインターンシップ生の受け入れを行ったが、ホームページの掲載には至らなかった。
- (6) えるぼし認定取得
「東京都 女性従業員のキャリアアップ応援事業」のフォローアップコンサルティングを利用し、助言を受けながら申請書を作成した。10月に東京都労働局に提出しヒアリングを受けた後、2024年1月24日付で「えるぼし認定企業（2段階目）」の認定を取得した。今後は毎年、「女性の活躍推進企業データベース」の更新を行いながら、3段階目の取得を目指す。
- (7) 該当する退職者にはジョブリターン制度の説明を行った。
- (8) 求人活動をサポートする会社の導入を検討し、次年度より求人活動の一部委託することとした。

3. 人的安定性

1) 人的安定性

- (1) 職員のフォローアップ
振り返りシートを活用し、定期的に施設責任者が職員面談を行った。職員体制が確保できない等の理由から事務局の巡回指導は実施できなかったが、必要に応じて職員面談を実施した。休職した職員が復職した際には、復職プログラムを立て定期的に面談を行った。
- (2) メンタルヘルス外部相談窓口として、東京メンタルヘルス株式会社が行っている「メンタルヘルスサポートネット」を利用した。また、年2回のセルフチェックを実施し、回収率が低い時には期間を延長した。また、新規採用職員に対しセルフケア講習、および管理者むけのラインケア講習を受講した。
- (3) 給与水準の検討
職員の雇用の安定と、一定の生活水準確保のため、社会の状況や水準を踏まえ常勤職員の基本給のベースアップと該当者には特別賞与を支給した。

2) 人財育成

人財育成方針に沿った研修計画を基に常勤研修、職場内教育を実施した。

法人内階層別研修の常勤研修の一部は録画し、体調不良等で参加できなかった職員は後日、視聴できるようにした。町田市資質向上研修に、非常勤職員は年2回参加した。東京都社会福祉協議会の講師派遣制度を活用し、全職員で「保育におけるリスクマネジメント」を学んだ。

新規採用者を中心に「放課後児童支援員認定資格研修」、5年以上の常勤職員は「東京都放課後児童支援員資質向上研修」を受講した。

人事考課に基づくフィードバック面接を年に2回実施し、目標の到達点と課

題などの確認を行った。

3) 研修

全国学童保育連絡協議会主催

日 時	研修名	場 所	参加人数
6月4日	全国指導員学校	オンライン/横浜市社会福祉センター	38人
11月4・5日	全国学童保育研究集会	オンライン/桜美林大学	30人

東京都主催

東京都放課後児童支援員資質向上研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
2月15日	職業倫理・障がい児理解・保護者、学校との連携	町田文化交流センター	1人

東京都主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
10月13日	アナフィラキシーの基礎知識と緊急時対応	あいおいニッセイ同和損保新宿ホール	7人

東京都社会福祉協議会主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
6月15日	部下・後輩を育てるコーチング	オンライン	5人

町田市児童青少年課主催

放課後児童支援員資質向上研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
6月2日	職場内のコミュニケーション	オンライン	56人
7月7日	いじめのメカニズムを知る理解と対応、双方のケアの重要性	オンライン	常勤55人 非常勤47人
9月15日	支援員による虐待等の危険性及びセルフケアの重要性	オンライン	常勤53人 非常勤52人
10月5日	保護者支援 相談援助技術	オンライン	56人
11月16日	高学年の発達と理解の支援	オンライン	54人
12月7日	愛着障がいの理解と支援	オンライン	57人
1月19日	まちとも及び学校との連携 「新放課後子ども総合プラン」の実績	オンライン	56人
2月9日	ADHDおよび発達特性のある子どもの理解と育成支援	オンライン	常勤62人 非常勤60人

町田市子ども生活部主催（地域合同研修）

日 時	テーマ	場 所	参加人数
7月14日	相談援助の基本	オンライン	3人
11月13日	ヤングケアラーの支援について	市役所	1人

町田市社会福祉協議会主催（福祉施設職員研修）

日 時	テーマ	場 所	参加人数
9月29日	中堅職員のためのコミュニケーション	オンライン	3人
2月16日	利用者やご家族の想いを聴く・理解する 対人援助職のための応対研修	町田ボランティアセンター オンライン	5人

その他

日 時	テーマ	場 所	参加人数
12月8日	ヤングケアラーを地域で支えるために	南市民センター	2人
WEB配信	子どもの多様な居場所・学びの場 地域につくろう		1人

階層別研修（法人）

（1）初任者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
4月21日	個人情報	どろん子クラブ	8人
5月18日	記録の取り方①	ことばらんど	7人
6月9日	メンタルヘルス対策	高ヶ坂けやきクラブ	常勤11人 非常勤4人
11月18日	いのちの広場	鶴川第三小学校	3人
11月30日	苦情解決	つくし野クラブ	6人
12月13日	保護者との関わり方	オンライン	6人

（2）中堅者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
5月18日	苦情解決②	つくし野クラブ	5人
6月23日	実践検討	オンライン	3人
7月11日	子育て支援	どろん子クラブ	9人
	OJT研修とは	大蔵クラブ	4人
9月19日	保護者会支援	そよかぜクラブ	4人
	実践検討	高ヶ坂けやきクラブ	3人
11月24日	保護者会支援	そよかぜクラブ	5人
11月30日	福祉サービスの組織性	なかよしクラブ	5人
12月12日	集団作り	オンライン	8人
1月23日	実践検討	高ヶ坂けやきクラブ	2人

（3）管理者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
WEB配信	業務継続計画作成にあたって		4人
WEB配信	管理職のためのメンタルヘルス		7人
WEB配信	育業（育児休業）360度徹底解説		3人
WEB配信	福祉職員に求められるリーダーシップのあり方		13人
2月～3月	責任者交換研修	各クラブ	11人

（4）職員全体研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
7月18日	学年別年間保育計画	オンライン	常勤57人 非常勤48人
1月26日	保育におけるリスクとハザード	オンライン	常勤44人 非常勤55人
10月～1月	情報セキュリティー研修	各施設	常勤57人 非常勤67人

(5) 資格取得

講習名	参加人数
放課後児童支援員	常勤4人 非常勤4人
普通救命救急講習	常勤10人 非常勤2人
防火・防災管理者講習	1人
労働衛生推進者	2人

事務局研修

日時	テーマ	場所	参加人数
5月24日	公共営業実践講座	オンライン	1人
6月13日	算定基礎届事務講習会	町田市民フォーラム	1人
6月28日	社会福祉法人会計初級編	仏教伝道センタービル	1人

職場内教育

月	内容	月	内容
4	リスクマネジメント・食品の取り扱い	9	安全管理・危機管理
5	個人情報の取り扱い	10	苦情解決
6	保育理念文書	2	アレルギー対応
7	保健・衛生管理		

4. 啓発活動

1) ニュース発行

(1) 広報紙「くれよん」

広報紙「くれよん」を年間計画に基づいて、年6回、1,300部発行を行った。法人主催で行った「いのちの広場」(保護者と支援員の学習会)や、「法人設立20周年記念式典」の報告、職場体験や南地区合同行事の様子、保護者と警察署に記事依頼を行い、「子どもとSNSについて」などを掲載した。

(2) 「ぷちくれよんだより」 季刊発行

ぷちくれよんひろば利用者と学童保育クラブ在籍家庭に子育てに関する情報提供を目的に「ぷちくれよんだより」を学期ごとに年3回発行した。企画時に親子で工作を楽しむ様子や出来上がった作品を載せるとともに、季節に合わせて「夏の肌トラブル」、「季節の野菜を使った離乳食」など子育てに役立つ情報を掲載した。利用者アンケートの結果についても報告を行った。クラブだよりにあわせて、全保護者へ配布をした。ぷちくれよんひろばを今まで利用したことのない人も、ぷちくれよんだよりを見ただけで開催場所などの情報がすぐに分かるよう、内容の改定を行った。

2) ホームページの充実

(1) トップページのスライドショーに在籍児が描いた法人設立20周年のロゴマークを掲載するとともに、記念式典のお知らせと報告を掲載した。

(2) 法人事業のページにぷちくれよんひろばの実施予定、ぷちくれだよりの掲載を行った。また、ロケットキッズについての記述を追加し、報告集を掲載した。

- (3) お知らせページの「学童クラブ」「イベント情報」の活用はできていない。
- (4) ボランティア受入の窓口として、ホームページに各クラブの募集状況を掲載することを計画していたが、クラブからの情報収集ができなかったため、掲載に至らなかった。

3) その他

- (1) 10月以降に実施される就学時健診にむけて案内チラシを配布した。
- (2) 学童保育月刊誌「日本の学童ほいく」の普及
日本唯一の学童保育に関する専門雑誌であり、2023年度は51部の購読申し込みがあった。前年度と横ばいであり支援員のみ購読に留まっている。ブロック会議やクラブの支援員会議で月刊誌を活用し支援員教育の充実を図った。今後も懇談会等を活用し月刊誌の普及活動を行っていく。

5. 子育て支援事業

1) 緊急一時保護

町田市の依頼を受け行った。

2) 通所支援事業

「町田市学童保育クラブ通所支援に関するガイドライン」に基づき、町田の丘学園に在籍する児童の通学バス停までのお迎え事業を行った。

3) ぶちくれよんひろば事業

5か所のクラブ（どろん子、そよかぜ、南大谷、なかよし、金井）で開催した。利用は当日予約も含む電話予約制とし、5組を上限に受け入れを行った。10月には屋外開催の企画「秋を探しに」を行い、なかよしクラブで2組の参加があった。

利用者アンケートは利用時に回答をしてもらうだけでなく、郵送でも行った。「子どもがすごく楽しんでいて、私も楽しかった」や「広いお部屋とおもちゃの利用は助かります。」等の意見があった。玉川大学のインターシップ生の受け入れを行った。インターシップ生は、12月の企画「お正月制作」の立案を行い、当日はなかよしクラブの担当となった。

4) にじいろキッズ事業

空き待ち児童がでなかったため、実施しなかった。

5) ロケットキッズ（新にじいろキッズ）

新名称を在籍の高学年（4～6年生）から募集し、「ロケットキッズ」と決まった。学童保育クラブに3年生まで在籍していた4～6年生（在籍児含む）を対象に、子どもの居場所事業として11月18日（土）、12月2日（土）に鶴川第三小学校で、「ペットボトルロケットの打ち上げ実験」のプログラムを実施した。

参加者は11月2名、12月6名だった。今年度はロケットだけでなく発射台も子ども達が作成し、見事に成功させ、異年齢の交流の場を作ることができた。

当日は、ボランティア3名（うち1名、卒会生の高校生）、玉川大学インターシップ生1名の受け入れを行った。インターンシップ生は11月の交流ゲームの企画の立案を行い、当日の交流ゲームを担当した。

	4年	5年	6年	計
金井			1名	1名
鶴川	1名		1名	2名
つくし野	1名	1名		2名
どろん子	1名			1名
計	3名	1名	2名	6名

6. 保護者会活動への支援

1) 保護者会との懇談会の充実

各クラブ保護者会相互の交流を図るとともに、法人との情報交換および連携を図るため懇談会を対面開催を基本とし、学校行事等の状況を見ながらオンラインを併用し開催した。懇談会前に各保護者会が疑問に思っていること、他保護者会に聞きたいことなどのテーマを募った。毎回ではなかったが、対面開催時には交流時間を深めるためにグループに分かれて懇談を実施することができた。次年度はより交流を深められるよう交流内容等を検討していく。

月	内 容
6月	保護者会活動の取組、新たな学校づくりについて
8月	保護者会活動の取組、新たな学校づくりについて
11月	行事、役員の引継ぎ、連絡ツールについて
2月	広報紙「くれよん」、新たな学校づくりについて

2) 保護者と共に学び考える場を

昨年度忠生地区で開催し好評であった「いのちの広場」を、本年度は鶴川地区（鶴川第三小学校視聴覚室）で対象を外部に拡大して開催した。当日は43名の参加があった。参加者からは「命の大切さ、性や人権についての捉え方について理解を深めるきっかけとなった」「ペン先ほどの受精卵から生まれてきた命。（人形）を抱っこしてみてこんな大きさだったのだなあと胸が熱くなりました。大切な命、その親御さんの大切なお子さんをお預かりしていることを肝に銘じ支援していきたいと思った」等の感想が寄せられた。

3) 親善ソフトボール

保護者と職員有志の交流ソフトボールを実施した。以前のような保護者会対抗の大会形式ではなく、保護者一人でも参加できる形式での呼びかけを行い、ソフトボールというスポーツを通じて、職員はじめ、保護者同士が交流を深める機会となった。

7. 関係団体・機関との連携

1) 行政との連携

- (1) 事務局が窓口となり、児童青少年課と日常的な情報交換を行う。また、児童青少年課主催の施設長会議に出席した。
- (2) 東京都子供・子育て会議委員を依頼され、職員を派遣した。

2) 学童保育に関する団体との連携

- (1) 町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会（父母連協）と町田市学童保育を考える会（考える会）と学童保育に関する課題が生じた際、連携を図っているが2023年度は父母連協からの依頼のチラシの配布のみにとどまった。
- (2) 町田市学童保育運営者協議会に参加し、市内で学童保育クラブを運営する法人と高学年保育について、登降所システムについて、まちともへの参加、合同避難訓練について等、6月、10月、3月に情報交換を行った。
- (3) 町田市社会福祉協議会の主催する児童の絵画展の選考委員を依頼され、事務局が協力を行った。必要に応じて学童保育事業担当者との情報交換を行った。

3) 子どもに関する事業を行う団体・法人との連携

- (1) 冒険あそび場「せりぼう」とは広報紙のやりとりのみだった。次年度より成

瀬地区を中心に、クラブ外保育や出前あそび場の実施の依頼を検討していく。

8. 苦情解決

法人苦情解決制度に基づき設置された、苦情解決委員会を年に2回開催した。保護者および地域から寄せられたご意見と対応について委員に報告を行った。

苦情の件数は下記の通りであった。昨年度より支援員の対応に関する苦情の件数が減り、2023年度の下半期は5件と大幅に減った。内容としては、支援員からの説明が不十分だったもの、保護者への連絡ができていなかったものが主であった。保護者への報告は伝える内容を把握した上で正しく行い、出席や降所の確認については速やかに行っていく。報告内容については、各クラブの支援員会議で情報共有を行い、再発防止に努める。また、町田市に報告書を提出した。

苦情内容	2022年度	2023年度
職員の対応	25	19
近隣	1	2
その他	4	0
合計	30	21

9. 学童保育の充実にむけた取組

1) 施設の狭あい化

児童数の増加により狭あい化している施設の課題を解消するために、定数協議の際に町田市と協議した。2024年度は、特にどろん子クラブは児童数が増え、新たに学校の教室を借用することになり3か所に分かれての保育となるため、単独施設の増築を要望した。

2) 学校統合に伴う学童保育クラブ数の減少

小学校の統合の統合における学童保育クラブの統合についての対応を、運営委員会や理事懇談会で検討を行った。

10. 法人設立20周年記念式典

2023年3月に法人設立20周年を迎えた。12月10日(日)国際版画美術館にて式典を開催し、来賓・保護者・職員合わせて87名の参加があった。式典では、法人設立当初から運営に携わっていた理事・職員による記念対談や、学童保育クラブの子どもたちによるお祝い動画の上映等が行われ、盛会のうちに終了した。

11. その他

1) 労働安全衛生の推進

施設責任者で受講していない者は「安全衛生推進者」の資格取得のための講習を受講した。

2) 震災で被災した学童保育への支援金の取組み

法人として、全国学童保育連絡協議会が実施している「東日本大震災学童保育募金」および「自然災害学童保育支援募金」に引き続き協力を行う。広報紙くれよん171号にて支援の呼びかけを行い、集まった支援金を送金した。クラブ単位での取り組みが全クラブで実施できなかったため、次年度は共催行事等の際に、支援の呼びかけを行う。

3) 事業拡大と法人基盤の強化

- (1) 地域の子育て支援を開始するための新事業の調査研究、具体化、提案は未着手であった。
- (2) 新年度前には、会員となったことがある方に、会費の払込書とともに依頼文を送り、引き続き会員となっていただいた。しかし、会員数は減少している。
- (3) 法改正に伴い、必要な就業規則の改正を行った。また、社会情勢や現状に合わせて、都度、内規等の新設や諸規程の改正を行った。

(2023年4月1日～2024年3月31日)

区分		2022年度	2023年度
正会員	団体会員	12	12
	個人会員	59	57
賛助会員	個人会員	25	19
計		96	88

Ⅱ．学童保育事業

1. 事業展開

「倫理綱領」「倫理綱領に基づく行動指針」「保育実践のガイドライン」「学童保育所保育指針」等、保育理念に関する法人諸規程に基づき、保育事業を行った。(各クラブ事業報告書：別紙参照)

2022年度の「公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果(モニタリング)」において、人的安定性の項目における「適切な職員配置」において要求水準が満たしていない日があった。また、児童の安全性が損なわれた案件があったため、嚴重注意を受けた。

1月に町田市の会計・経理・労働条件モニタリングが行われた。事務局が説明し、帳票類を提出したところ、問題点等の指摘事項は特になかった。

2. 組織運営

1) 職員会

(1) 施設責任者会議

毎月開催し、職員研修、施設・組織運営に関する諸課題について検討を行った。また、必要に応じて臨時責任者会議を開催した。

月	内容
4月	1学期正規全体会、4月運営委員会、6月保護者会懇談会にむけて、感染対策、町田市事業報告書作成について
5月	6月保護者会懇談会にむけて、町田市事業報告書作成、20周年記念式典、PJ担当者会議議題、マニュアルについて
6月	ソフトボール大会、7月運営委員会議題整理
7月	定期点検・苦情解決委員会報告、9月保護者会懇談会・運営委員会議題整理、入退室管理システムについて
9月	入退室管理システム、昇級試験について
10月	11月保護者会懇談会・運営委員会議題整理、昇級試験について
11月	利用者アンケート、11月保護者会懇談会議題整理、事業計画・報告書について
12月	20周年記念式典振り返り、人事考課、ロケットキッズ、中期計画について
1月	自己チェックシートまとめ、入退室管理システム説明会、2月保護者会懇談会・運営委員会議題整理、3学期正規全体会、中期計画について
2月	年間保育計画の確認、責任者交換研修、人財育成計画、次年度研修計画について
3月	主任の職務分掌、人財育成計画について

(2) ブロック会議

毎月ブロック会議を開催し、施設運営(事故対応、苦情解決、施設の管理等)に関する情報共有および業務改善への指導を行った。情報を共有することで、常勤職員の職員教育および業務標準化を図った。

3. 関係団体・機関との連携

1) 行政との連携

- (1) 地域子育て支援ネットワーク連絡会に参加し、児童虐待防止および域の子育て支援に関する連携を図った。
- (2) すみれ教室等、地域の子育て支援に関する諸機関との連携を図った。
- (3) 町田市教育センターが主催する「特別支援学校連絡協議会」に参加し特別な支援が必要な児童の保育・療育等に関する連携を図った。
- (4) 「放課後子ども教室（まちとも）」を運営する運営協議会との協力・連携を図った。あそび方のルール、ケガやトラブルなどの情報を共有した。また、緊急時対応マニュアルの作成を行う予定であったが、町田市がマニュアルを作成することとなったため、法人独自で作成することは取りやめた。町田市よりマニュアルを示された後に、各クラブで対応を確認することとする。

2) 町田市への報告

(1) おやつを提供について

- ①町田市としておやつには提供しないとしている品（落花生）を含むお菓子を提供してしまった。改善策としてチェックシートに提供しない食品を追記した。
- ②卵アレルギーがある児童に、卵を含むおやつを提供してしまった。改善策として、おやつの配膳の際に、アレルギーがすぐわかるよう、個別の皿とトレーに、児童名とアレルギー物質の表示ラベルを貼った。

(2) 出欠席の確認について

- ①出席予定の児童を欠席と間違え、保護者が迎えに来た際に出席だったことがわかる。改善策として、出欠席の確認は複数で行い、保育前までに入った連絡（出欠・降所時間の変更等）については、申し送りの時間に全職員で共有することとした。
- ②児童が登所していなかったため、出欠確認の電話連絡をしたが、すべての緊急連絡先に連絡しなかった。保護者が迎えに来た際に出席だったことがわかる。
- ③児童が出席していなかったため、緊急連絡先に電話連絡をしたが繋がらず、折り返しの電話を待つ判断をしてしまったため、当該児童の所在の確認が遅れた。母からの折り返しの電話が入り、出席することになっていたことが判明しその時点で職員が探しに出た。

改善策として、すべての緊急連絡先に連絡を入れ本児の所在を確認すると同時に、自宅まで探しに行くことを全クラブで徹底した。

(3) 業務日誌の一時紛失

保育前の申し送りを保育室で行うため、業務日誌（7日分）と電話連絡板を事務室から持ち出した。業務日誌の記載内容を職員に報告し、児童のロッカーに業務日誌を置いたまま保育に入ったため、児童が持ち帰ってしまった。改善策として、業務日誌は事務室から持ち出さないことにした。

(4) 開設時間について

一日保育の開設時間は8時半から18時までとなっていたが、児童が17時半に降所したため、18時前に閉所し職員は退勤してしまった。改めて、全クラブに開設時間の周知を行い、常勤職員全員で児童青少年課マニュアルを読み合わせし、確認した。勤務表の時間より早く退勤する際には事務局に報告をすることとした。

(5) メールの誤送信について

入退室管理システム「初回ログインの案内チラシ」メールを個別の保護者に送信する際に宛先の検索を苗字のみで行った為、同じ苗字の3名が宛先になっていた。メール内容は自動で宛先のログイン ID(メールアドレス)が入力される仕様になっていたが、1名のログイン ID(メールアドレス)をコピーして手動で本文に貼り付けた。そのため、送信した3件の宛先に同じログイン ID(メールアドレス)と本児の児童名が記載されたメールを送信してしまった。改善策として、「初回ログインの案内チラシ」メールの内容を紙媒体で配布することし、個別にメールでの送信は行わないこととした。

4. 保育の質の向上

1) 児童の安全対策

事故とけがに関するヒヤリハットの振り返りと分析を各クラブで学期ごとに行った。支援員の事故防止対策に対する知識の習得と児童への安全指導が適切に行えるように、ブロック会議等で分析結果の共有と事故防止対策の報告を行い、必要に応じマネージャーが指導、助言した。

2) 保育実践の報告会

保育実践の交流を正規職員全体会の際にクラブごと、またはグループに分かれてディスカッションする時間を設けた。また、ブロック会議では各クラブの行事・取り組みなどの情報交換や実践を振り返り、クラブで取り入れられるものは実践に活かした。

3) 保育に関する自己点検

月に一度の支援員会議の場で、保育の振り返りシートを活用し自己の保育の振り返りや見直し(点検)を行うことで、職員の保育の質の向上を図った。

5. 安全計画

1) 児童への健康指導・安全指導

(1) 手洗い・うがい

正しく手洗いができているか年に2回以上、手洗いチェッカーを使用し指導した。また、感染症対策としてマスクの着用、食事中のマナーの指導をした。

(2) 交通安全指導学区域の通学路マップ等を使い、年に3回(4, 7, 2月)指導を行った。

(3) KYT(危険予知トレーニング)

年度当初に支援員会議の場で施設内外の危険箇所、遊具の使い方や遊び方に関する指導を行った。

2) 食物アレルギー・熱性けいれん・てんかんの対応

(1) 食物アレルギー

町田市のアレルギー対応マニュアルを、職員全体で確認した。食物アレルギー対応マニュアルおよびチェックリストをもとに、日常の食品管理は専用のケースで行い、おやつ提供時の事故防止対策を徹底した。食品アレルギーをもつ児童の家庭と毎年ごとに面談を行い、個別対応プランを立てプランに基づきおやつ等の提供を行うことを徹底した。

(2) 熱性けいれん・てんかん

熱性けいれん・てんかんをもつ児童の家庭と毎年ごとに面談を行い、発作が起きた際にはチェックシートと座薬の挿入に関する意見書、同意書兼依

頼書をもとに対応することを徹底した。対象となる児童の在籍の有無にかかわらず、年度当初にアレルギー、熱性けいれん・転換の対応について支援員教育を行った。

3) 防災・不審者対応

(1) 火災事故防止

全クラブに防火管理者を配置し、消防計画をもとに適切な訓練等を行った。また、火災防止のため、チェックリストを基に毎日、点検を行った。法定の消防設備保守点検が義務付けられている施設は、年2回点検を受けた。

(2) 児童・職員の訓練

町田市の防災マニュアルに基づき、自然災害時や不審者対応等の訓練毎月行った。また、職員教育として警察署、消防署職員による訓練をそれぞれ年1回、実施した。町田市の土砂災害・洪水ハザードマップで危険個所となっているクラブ（大蔵・のびっ子・金井・そよかぜ・あおぞら・南大谷・わんぱく）は、訓練を実施した。「放課後子ども教室（まちとも）」を運営する運営協議会と合同の避難訓練（地震・不審者など）を企画提案し実施した。

4) 衛生管理

(1) 衛生管理

衛生管理チェックシートに基づき、施設・設備の維持管理を日・月単位で行った。

(2) 食品の管理

食品の賞味期限の管理は、マニュアルに基づき、複数の支援員で確認して提供をした。食品の在庫管理は、複数の支援員で定期的に行うことを徹底した。4月に食品の管理について、マニュアルの確認を全支援員で行った。

5) 事故件数（医療機関にかかった場合）

2022年度と比べ児童のケガの件数は大幅に減少した。学童保育クラブでは、支援員会議で児童の遊び方の確認をし、都度あそび方や遊ぶ場所の指導を繰り返し行ったことで、子どもたち自身で考えながら遊ぶことができるようになった。KYT理論（危険予知）の手法に基づいた指導法を全クラブで共有し、今後も事故防止に努める。職員のケガの件数が昨年度よりも増えたため、職員教育を行い事故防止に努める。

	児童				職員	
	傷害		施設賠償		2022年度	2023年度
	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度		
大蔵	9	1	0	0	0	0
大戸のびっ子	6	1	0	1	0	1
金井	9	6	0	0	0	0
高ヶ坂けやき	1	4	0	1	0	1
図師	6	7	0	0	0	2
そよかぜ	4	4	0	0	0	1
つくし野	2	3	0	0	0	0
鶴川	8	10	1	0	1	1
どろん子	14	10	0	0	0	2
なかよし	7	7	1	0	1	0
成瀬中央あおぞら	3	6	0	1	0	0
南大谷	9	2	3	0	3	1
わんぱく	7	2	1	0	1	0
事務局						2
計	85	63	6	3	6	11

児童のケガ	
保育中	登下校中
1	0
1	0
5	1
3	1
7	0
4	0
3	0
9	1
10	0
7	0
6	0
2	0
2	0
60	3

6. 業務継続計画の策定

計画の策定にあたり、施設責任者は厚生労働省の動画研修を受講した。事業の継続について等は、町田市の動向も大きく関わるため町田市としての指針を示してもらおう依頼した。クラブ内で検討できる箇所については作成した。

7. 地域との交流

1) 交流・合同行事

各クラブ間の相互交流、および運営主体が異なる他クラブとの交流を積極的にすすめる、「町田の学童保育クラブ」として交流および連携を図った。南地区の学童クラブ（高ヶ坂けやき、そよかぜ、つくし野、どろん子、成瀬中央あおぞら、南大谷、わんぱく）が2つに分かれ、オンラインを活用し伝承遊びの大会をする合同行事を行い、交流を図ることができた。次年度は、北地区も開催を目指す。

2) 地域との交流を目的とした行事の実施

- (1) 地域の自治会等と、地域での子どもの安全と健やかな成長を願う団体と、行事を通して交流を図った。
- (2) 学童保育に在籍する子どもと地域の子どもの交流を目的とした、地域開放行事が再開できるよう準備を進める。

8. 保護者支援

1) 個別の家庭支援

(1) 個人面談

子どもの成長を伝える機会として、年1回以上、全家庭を対象に実施した。支援員と保護者の信頼関係づくりに重点をおいて、個別支援を行った。実施にあたっては、保護者が方法（対面・オンライン）を選べるようにしたことで、保護者の参加がしやすくなったと好評であった。

(2) 懇談会

保護者同士が悩みや相談ができるよう、学年別やグループ別などに分けて保護者からテーマを募るなど身近なことについて気軽に相談しあえるよう支援した。参加者が少ないクラブは理由を分析し、参加しやすい環境を検討し懇談する内容を変更する等の工夫をした。

(3) その他

連絡帳やクラブ通信を活用し、日々の子どもの様子を伝えた。連絡帳の記載は、保育時間中のため、記載が確実にできないこと等を保護者に説明し理解を求め、クラブ通信等で伝えることを意識した。

2) 保育参加

保育参加は全クラブで実施することができた。次年度も、保護者が保育を体験しながら、日頃の子どもの様子を知る機会として実施する。

大蔵	12名	そよかぜ	2名	成瀬中央あおぞら	8名
大戸のびっ子	2名	つくし野	19名	南大谷	13名
金井	13名	鶴川	21名	わんぱく	13名
高ヶ坂けやき	11名	どろん子	19名	計	74名
図師	4名	なかよし	13名		

3) 保護者会支援

子育てを通じて保護者同士がつながり協力し合える関係になるよう、保護者が活動に参加する機会を保護者会役員と相談しながら設けた。保護者会活動を通じて「我が子の成長が感じられる」「我が子の友達と触れ合うことができる」を軸に、保護者会活動が円滑に進むよう協力した。また、子どもたちを真ん中に保護者と支援員が手を取り合い、学童保育クラブの充実のための協働をすすめていった。

4) 卒会・退会した児童と家庭へ子育て支援

- (1) 学童保育クラブで実施される地域開放の行事等において、卒会・退会した児童との交流を図った。
- (2) 卒会・退会した児童の保護者から寄せられる、子育てに関する相談を必要に応じて受けられる体制を検討した。
- (3) 学童保育クラブを卒会・退会した中学生を対象にボランティアを受け入れる体制を整備した。

9. その他

1) 利用者アンケート

10月クラブ保護者に対し満足度調査を行い2月にアンケート結果および改善策について保護者へ報告した。調査方法は保護者の利便性向上のためWebを中心とした形式で実施した。今年度13クラブの回収率平均が、昨年度の93.1%から88.2%に減少したが、アンケートを紙媒体からWeb形式への移行に伴う数値変動と捉え、引き続き保護者により良い学童保育運営のため、アンケートの意味を周知し回収率向上につなげる。アンケートの回答について、全体的に評価が高いのは、「学童クラブに楽しく通えているか」「発熱やケガなどの対応」「施設の衛生管理について」等であった。

クラブにより若干の差があるものの、評価が低かった項目は「学校と学童クラブとの情報共有」「保護者同士の交流」等があった。保護者同士の交流については、「最低限の実施で良い」という意見がある一方で「コロナ禍から現在まで交流の機会が少なく残念」などの意見があった。保護者会と連携し、保護者同士の交流の在り方を考えていく。学童クラブとの情報共有については、出欠確認・連絡ツールについてのご意見があった。利用者アンケートの要望を受けて、2024年2月より入退室管理システムを全クラブに導入し、運用を開始した。総合的満足度は、13クラブで92.9~100%と比較的満足が得られている。いただいたご意見をもとに、更なる満足度の向上に努める。

全世帯	回答数	全クラブ平均
1,077	940	88.20%
前年度		93.10%

2) 放課後児童クラブ自己チェックリストの活用

各学童保育クラブにて年一回、学童クラブ事業内容について「放課後児童クラブ自己チェックリスト」を用いて振り返った。その後、全クラブで法人としての検討を行い、事業計画に反映する等の事業内容向上に向けた取り組みに努めた。

3) 業務改善

- (1) 教材等をデータ化し、クラウドにて情報共有を行うことはできなかったが、階層別研修の一部を録画し、欠席した職員が後日視聴できるようにした。
- (2) ペーパーレス化
給与明細の電子交付者を増やすため、職員に閲覧手順のマニュアルを配布し、協力を呼びかけた。また、請求書、領収書は紙媒体で事務局保管しているが、今後、電子保存を検討する。
- (3) ビデオ会議、クラウドデータの取り扱い等、ICTに対する知識の職員教育の実

- 施は行えなかったため、次年度の課題とする。
- (4) 事務局の課業一覧を現在の5階層から6階層への再作成は行えなかったため、次年度の課題とする。
 - (5) 悪意のあるコピーや削除を防止するため、デバイス証明書を用いた端末固有の識別 ID でアクセスを制御するシステムを導入した。また、情報漏洩やメール誤送信を防止するため、メール暗号化や添付ファイルの Web ダウンロード化機能等を備えるクラウド型メールセキュリティサービスを導入した。
 - (6) インターネット購入サイト「アマゾンビジネス」に登録し、インターネットでの購入代金を法人の請求書払いとすることにより、クラブとして扱う金額が少なくなり、より安全に管理できるようになった。

4) 定期点検

年に3回、事務局による各クラブの定期点検を行なった。点検項目として、個人情報適正な管理、衛生管理、文書管理方法、整理整頓、火災事故防止に関する指導を行った。また、おやつ代の監査を年間通して行った。

5) ボランティア・町田市立中学生職場体験等の受け入れ

保育内容が充実したものとなるよう、また、地域に開かれた施設としてボランティアの受け入れを行った。今年度、町田市生涯学習センターインストラクターの会より活動の依頼を受け、金井学童保育クラブで絵本づくりを行った。中学生の職場体験の受け入れの他に、東京都より都立高校職場体験の受け入れ先の依頼があり、大戸のびっ子学童保育クラブで登録を行ったが、参加者はいなかった。

6) 玉川大学インターシップ生の受け入れ

玉川大学より依頼があり、秋学期に2名の学生を大蔵学童保育クラブとどろん子学童保育クラブで受け入れを行った。日常の保育実習の他、ぷちくれよんひろば・ロケットキッズプロジェクトに参加した。

【ボランティア受け入れ】

	活動内容	時期	所属	人数
大戸のびっ子	保育補助	通年	法政大学（学生）	23名
金井	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	2名
	ピアノで絵本	2月	町田市生涯学習インストラクター	1名
高ヶ坂けやき	工作教室	7. 8月	個人	1名
図師	タグラグビー	11月	相模原ラグビー協会	3名
	ボッチャ	11月	図師ボッチャ	3名
	保育補助	7, 8月	個人（高校生／大学生）	2名
そよかぜ	お話し会	年9回	虹の会	7名（各2名）
	保育補助	8月15日	個人（高校生）	2名
	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1名
	伝承あそび教室	1月10日	個人	1名
つくし野	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1名
鶴川	演奏会	3月	非常勤職員・個人（学生）	2名
どろん子	保育補助	8月	個人（大学生）	3名
	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1名
	工作教室	7. 8月	個人	1名
なかよし	お話し会	年4回	たつのこ会	3名
	保育補助	夏休み	個人（高校生）	1名
成瀬中央あおぞら	保育補助	通年	個人（地域協力者）	2名
	保育補助	12月	個人（高校生）	1名
	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1名
	パステル教室	8月、12月	個人	1名
わんぱく	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1名

【職場体験】

	受け入れ中学校	時期	人数
大蔵	鶴川中学校	9月20～22日	5名
	金井中学校	1月16～18日	3名
大戸のびっ子	堺中学校	9月20～22日	5名
	忠生中学校	11月29～22日	5名
つくし野	南成瀬中学校	1月16～18日	2名
成瀬中央あおぞら	南成瀬中学校	1月16～18日	2名
わんぱく	木曾中学校	9月20～22日	3名

Ⅲ. 児童数と職員体制

1. 児童数および職員配置

(2023年4月1日～2024年3月31日)

クラブ名	支援の 単位数	職員			児童数			
		正規	常勤 (非正規常勤)	非常勤	4月1日	増	減	3月31日
大蔵	4	3	2	7	159	16	31	144
大戸のびっ子	1	2	1	3	33	9	9	33
金井	3	4	1	9	101	19	43	77
高ヶ坂けやき	2	3	0	6	66	11	31	46
函師	3	3	2	7	108	15	27	96
そよかぜ	3	4	1	11	84	15	27	72
つくし野	2	4	1	5	100	0	5	95
鶴川	3	2	2	5	82	14	16	80
どろん子	4	4	5	15	151	14	17	148
なかよし	3	5	0	8	100	15	23	92
成瀬中央あおぞら	2	3	0	7	84	8	21	71
南大谷	3	3	4	10	139	14	42	111
わんぱく	2	2	0	7	73	16	18	71
事務局		4	0	0				
計	35	46	19	100	1280	166	310	1136

2. 人事

1) 採用

<採用>

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	なかよし	
	非正規常勤職員	南大谷	
		金井	派遣会社より
		そよかぜ	派遣会社より
		どろん子	派遣会社より 4月5日退職
4月5日	非正規常勤職員	金井	派遣会社より
	非常勤職員	どろん子	派遣会社より
4月11日	非正規常勤職員	南大谷	派遣会社より
	非常勤職員	大蔵	
5月8日	非常勤職員	函師	
5月12日	非正規常勤職員	南大谷	派遣会社より
5月16日	非常勤職員	どろん子	
6月19日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	再入職
7月4日	非正規常勤職員	南大谷	派遣会社より
7月5日	非常勤職員	どろん子	
7月6日	非常勤職員	大戸のびっ子	
7月10日	非常勤職員	なかよし	
8月1日	非常勤職員	大戸のびっ子	

8月3日	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	函師	
8月9日	非常勤職員	金井	
	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
8月10日	非常勤職員	なかよし	
8月12日	非常勤職員	つくし野	
8月14日	非正規常勤職員	金井	派遣会社より 8月末退職
8月22日	非常勤職員	つくし野	
9月14日	非常勤職員	函師	
9月20日	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	
9月25日	非常勤職員	どろん子	
10月1日	非常勤職員	大蔵	
10月2日	非常勤職員	そよかぜ	
10月2日	非正規常勤職員	大蔵	派遣会社より
10月5日	非常勤職員	なかよし	
10月24日	非正規常勤職員	どろん子	派遣会社より
11月15日	非正規常勤職員	金井	派遣会社より
12月1日	非常勤職員	南大谷	
12月1日	非常勤職員	南大谷	

<採用>

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
12月26日	非常勤職員	金井	再入職
12月28日	非正規常勤職員	大蔵	派遣会社より
1月4日	非常勤職員	どろん子	再入職
1月16日	非常勤職員	どろん子	
1月24日	非常勤職員	なかよし	
2月5日	非常勤職員	大蔵	
2月8日	非常勤職員	大蔵	2024年度正規採用
	非常勤職員	どろん子	
3月1日	非正規常勤職員	大蔵	派遣会社より
3月1日	非常勤職員	わんぱく	2024年度正規採用
3月16日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	2025年度正規採用
3月22日	非正規常勤職員	どろん子	派遣会社より 2024年度非正規常勤
	非正規常勤職員	なかよし	派遣会社より 2024年度非正規常勤
3月26日	非常勤職員	鶴川	2024年度正規採用
3月27日	非常勤職員	どろん子	再入職

<退職>

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月7日	非常勤職員	どろん子	
5月8日	非常勤職員	鶴川	
5月28日	正規職員	事務局	
8月31日	正規職員	函師	
6月30日	非正規常勤職員	南大谷	派遣
10月31日	非正規常勤職員	金井	派遣
6月30日	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	
8月31日	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	函師	
	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	そよかぜ	
9月30日	非常勤職員	南大谷	
11月30日	非常勤職員	金井	
11月30日	非常勤職員	金井	
12月28日	非正規常勤職員	大蔵	派遣
10月5日	非常勤職員	なかよし	
12月1日	非常勤職員	南大谷	

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
1月6日	非常勤職員	南大谷	
1月31日	非常勤職員	南大谷	学生
2月29日	非正規常勤職員	大蔵	
3月2日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	学生
3月31日	正規職員	金井	
	正規職員	高ヶ坂けやき	
	正規職員	南大谷	
	正規職員	わんぱく	
	正規職員	わんぱく	
	非正規常勤職員	大蔵	派遣
	非正規常勤職員	そよかぜ	派遣
	非正規常勤職員	鶴川	派遣
	非正規常勤職員	どろん子	派遣
	非正規常勤職員	どろん子	派遣
	非正規常勤職員	南大谷	
	非正規常勤職員	南大谷	派遣
	非常勤職員	金井	学生
	非常勤職員	金井	学生
	非常勤職員	函師	学生
	非常勤職員	函師	学生
	非常勤職員	そよかぜ	学生
	非常勤職員	そよかぜ	学生
	非常勤職員	つくし野	学生
	非常勤職員	鶴川	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	南大谷	学生
	非常勤職員	わんぱく	学生

<異動（配置）>

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	大蔵	なかよしより
	正規職員	図師	成瀬中央あおぞらより
	正規職員	図師	大蔵より
	正規職員	そよかぜ	図師より
	正規職員	つくし野	大戸のびっ子より
	正規職員	どろん子	鶴川より
	非正規常勤職員	つくし野	なかよしより
	非正規常勤職員	なかよし	どろん子より
6月1日	正規職員	事務局	南大谷より
7月1日	正規職員	大蔵	高ヶ坂けやきより
	正規職員	高ヶ坂けやき	金井より
	正規職員	成瀬中央あおぞら	そよかぜより
10月1日	正規職員	金井	大蔵より
	正規職員	南大谷	どろん子より
	正規職員	そよかぜ	南大谷より
12月1日	正規職員	大蔵	金井より
	正規職員	図師	大蔵より

<異動（役職者）>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	大戸のびっ子	南大谷より・責任者昇格

<異動（その他）>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	そよかぜ	非常勤職員より
	正規職員	金井	非常勤職員より
	正規職員	成瀬中央あおぞら	非常勤職員・高ヶ坂けやきより
5月1日	非正規常勤職員	どろん子	非常勤職員・派遣会社より
	非常勤職員	そよかぜ	非正規常勤職員より
10月1日	正規職員	どろん子	非常勤職員より
1月19日	非正規常勤職員	どろん子	休職
2月1日	正規職員	どろん子	休職
2月11日	非常勤職員	大蔵	正規職員より